おおはし里の杜（大橋換気所）

東京都目黒区大橋 1-9- 1　　登録者：首都高速道路株式会社

◆完成年月　平成 25 年 5 月　◆敷地面積　5,821 ㎡　◆緑地面積　1,065 ㎡　（うち樹木面積　580 ㎡）

◆URL：　https://www.shutoko.co.jp/efforts/environment/coexistence/ohashi/

おおはし里の杜は、首都高速道路大橋換気所の屋上に創られた自然空間です。

目黒川周辺の原風景をモデルに在来の植物を選ぶなど、地域本来の良質な自然地を回復することを目的に整備しました。

換気所屋上の特殊な形状（勾配約 28%の斜面と上方・下方の平面部で構成）を昭和初期のかつての目黒川の河岸段丘に見立て、斜面林、まぐさ場（馬や牛のえさ場としての草地）、湧水とせせらぎ、池、水田を設置し、多様な生きものの生息・生育空間を再生しています。周辺の代々木公園や駒場公園などの大きな緑地と、目黒川の自然をつなげる新たな拠点として、生きもののネットワークを形成することも目指しています。

おおはし里の杜

緑地の維持管理においては、自然の状態に近い樹形や草原を維持するために過度な刈り込みを行わない、在来種育成のために外来種を駆除するなど、生態系を守る取組を徹底して実施しています。また、農薬を使わないなど自然環境への配慮も行っています。

稲作体験イベントにおける田植えの様子

おおはし里の杜に生育するミソハギ

こうした取組の結果、約 300 種類以上の鳥類や昆虫類等が確認されました。生きもののモニタリングの結果は、その後の維持管理にも生かされています。

稲作体験イベントや一般開放イベントを通じて、近隣の小学校の環境教育の場や地域共生活動としての場も提供しています。

江戸のみどり登録緑地

＜優　良　緑　地＞

（2019 年 8 月登録）

EDO-MIDORI

在来種植栽情報

○面積割合

高木	95 %
中木及び低木	46 %

○在来種の種数

高木	16 種
中木及び低木	18 種

○おもな樹種

アカシデ、アラカシ、イヌシデ、ウリカエデ、ウワミズザクラ、イヌツゲ、ウグイスカグラ、ウメモドキ、ガマズミ、カマツカ　ほか